



世界に広がる“からし種運動”のネットワーク「声なき者の友」の輪
ニュースレターVol. 15 (2014年7月発行)

ジェノサイドから20年・ルワンダで考えさせられたこと



100日間で80万～100万人が殺された世紀の大虐殺から20年目を迎えたルワンダを訪ねさせていただきました。虐殺記念館や教会に設けられた地下墓地などを訪ねると Never Again (もう二度とあの悲惨を繰り返さない) という決意が感じられます。殺戮に参加した者たちを公正に裁き、身分証明書からツチ・フツという区別を削除し、毎月最終土曜日には「ウムガンダ」と呼ばれる国民総動員で地域奉仕活動(写真下)を義務付け、ツチ・フツが融和し国民としての一体感を創り出す努力を重ね、またインフラ整備や住宅建設などを積極的に推し進め、ここ10年間で「アフリカの奇跡」と賞賛されるほどの復興と発展には目を見張りました。

その一方で、あの悲劇に人々を追いやった「ルワンダの人々が持っていた世界観」に思いを向けさせられる時ともなりました。虐殺に積極的に参加した人々、参加したくはなかったけれども仕方なく参加した人々、自分の命の危険を冒してまでツチをかばった人々、彼らはそれぞれ別々の「世界観」を持っていたのです。だから彼らは異なる「決断と行動」をしたということが色々な方々と話すうちに見えてきたからです。「皆、同じように考え、



同じように行動すべきである」という世界観を持っていた人々は自分から進んで虐殺に走り、「力を持った人には従うしかない」という世界観を持っていた人々は仕方なくであったが虐殺者に手を貸していったのです。しかし「どんな状況に置かれても、身体は殺すことができても魂を殺すことのできないお方だけに従う」という世界観を持っていた人々は毅然とした態度で事態に立ち向かうことができたのです。

無意識のうちに「長いものには巻かれろ」という生き方を身に付け、権力を持った人には考えることなしに従い、「出る杭は打たれる」ので絶えず周りの人々の目を意識し恐れて無難に自分の行動を決めがちな日本人の私たちにとって、ルワンダの悲劇は他人事としてやり過ごすことのできない大切な教訓を与えてくれているのではないのでしょうか。

21 世紀の新たな格差への挑戦：バングラデシュ・新規パートナー訪問

バングラデシュで 2014 年から FVI のパートナーになった SKT。修了生のひとりが活動している地域を訪問。バングラデシュは 2008 年から 5 年で一人当たりの総所得が 2 倍になり、千ドルの大台に達しました。一日 3 度の食事がとれない人口は激減し、初等、中等教育も大幅に普及。女性の地位も大きく向上し、衣料品輸出は世界第 2 位となりました。このような飛躍的進展の一方、21 世紀世界の新たな格差が、バングラデシュをじわじわと覆い始めています。教育の恩恵を受け高学歴の若者が増えた一方、グローバル化の負の側面のためにそれなりの教育に見合った仕事を見出せずに不満を内在する若者たちも増えています。イスラム社会では、この不満を抱えた若者たちを巧妙に誘い込み、不安定な国政につけ込むテロ組織がその一員として育て上げる可能性が高まっています。モノが溢れ、自分だけの繁栄を求める先進国に見られる生き方は、地域総出でイスラム社会を形成する仕組みのなかを歩んできた彼らにとっては、大きな違和感があります。

「声なき者の友」の輪は、最貧国からの脱却という一つの山を越えると同時に、新たな挑戦に向き合い始めたバングラデシュにおいて、真理と愛の方に出会い「新しい生き方」を歩み始めた人々が、さらに理解を深めて隣人を愛する実践に生き、地域変革の核となれるように育成するパートナー団体との協力を始めました。



今回、その訓練生の一人によって「新しい生き方」を伝えられ、生きる意味を見出した一人の足の悪い青年と出会いました。彼は足が悪くても自転車には乗れるので市場で干物を売りつつ、荷台つき自転車でモノや人を運ぶ仕事もしています。あるとき「隣人を自分のように愛しなさい。」という教えが耳にこだまし、それ以来、道端でお年よりや荷物が多くて困っている貧しい人を見かけると、荷台に無料で乗せてあげようと思うようになり、行動し始めたそうです。このように変えられていく次世代の若者が増えていくことは、なんと素晴らしいことでしょう。

ぜひ、皆様のお祈り、ご協力をよろしくお願いいたします。

その他の活動（2014年3月～2014年6月）

Good Shepherd Community Church (ルワンダ)、東京武蔵野福音自由教会・英語部 (東京都)、万座温泉ホテル (群馬県)、
「罪人の友」主イエス・キリスト教会 (埼玉県)、川口中央福音自由教会 (埼玉県)、日本キリスト教団・秋田高陽教会 (秋田県)、
秋田しらかみ看護学院 (秋田県)、能代市内キリスト教会・有志の集い (秋田県)、ルーテル同胞・秋田中央キリスト教会 (秋田県)、
ルーテル同胞・秋田栄光キリスト教会 (秋田県)、J+Passion Tokyo 2014 分科会 (東京都)、日本キリスト教団・宮崎清水町教会 (宮崎県)、
田野町・檜山氏宅家庭集会 (宮崎県)、社会福祉法人「エデンの園」職員講演会 (宮崎県)、JECA 宮崎北聖書キリスト教会 (宮崎県)、
「世の光」救霊祈禱会 (宮崎県)、川口福音自由教会・50 周年記念チャリティーコンサート (埼玉県)、JEC 八尾福音教会・桜ヶ丘チャペル、曙チャペル (大阪府)、
活けるキリスト一麦西宮教会 (兵庫県)、立川福音自由教会 (東京都)、WFD 郡山学習会、福島未来会議⑤創作アート展覧会 (福島県) で F V I カタリストがセミナー、講演会等の奉仕させていただきました。共に労してくださった皆様に心より感謝いたします。なお、陣内スタッフは充電のため静養中です。

働きの支援、会費支払いのための送金方法

- ① 郵便振替： 口座名：「F V I」 口座番号：00180-0-300201
- ② ゆうちょ銀行、三菱東京UFJ銀行の口座もご利用いただけます。お問い合わせください。

*このレターは、希望された方に郵送させていただいています。送付先の変更、差し止めなどは、事務局にお知らせください。

*国内のカタリストを支援する場合、カタリスト名を、海外の活動を応援する場合、国名などを通信欄にご明記ください。

●「声なき者の友」の輪 事務局 email:info@karashi.net 090-6514-9251 (柳沢)